

次世代林業システムの実現を目指して

よね たまこ
米田雅子



(一社)日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC) 森林再生事業化委員会* 委員長
慶應義塾大学理工学部特任教授

2014 年の活動を振り返って

JAPIC 森林再生事業化委員会では、昨年は 4 回の定例委員会と 3 回のイベントを行いました。

- 2/26 第 22 回森林再生事業化委員会
- 5/29 第 23 回森林再生事業化委員会
- 6/9 重要政策提言
- 8/8 国産材マーク 1 周年記念シンポジウム
- 9/17 第 24 回森林再生事業化委員会
- 10/28, 29 九州視察会
- 12/5 第 25 回森林再生事業化委員会

委員会は、製紙、住宅、建設、機械、電力、ガス、製材、鉄鋼、商社、金融などの民間企業 41 社のほか、北海道から九州までの 8 つの地方経済団体連合会や、学識者に加えてオブザーバーとして、林野庁、国土交通省、経済産業省の方々により構成されています。委員会には、毎回 40 名以上の参加があり、活発な議論が交わされています。

特に、第 23 回森林再生事業化委員会では、今年度の重点政策提言をまとめ、6 月 9 日に以下の御三方（役職は当時）に提言書を手交しました（写真①）。

農林水産省 皆川芳嗣事務次官
林野庁 沼田正俊長官
国土交通省 足立敏之技監

また、『国産材を使って日本の森林を元気に』を掛け声に発足した『国産材マーク推進会』は 2014 年 8 月 8 日で 1 周年を迎えることができ、「国産材マーク 1 周年記念シンポジウム」を東京新木場の木材会館で盛大に行いました（写真②）。

シンポジウムには、全国から 203 名の方にご参加いただき、国産材マークの普及活動状況や代表的な事例を判りやすく紹介するとともに、熱のこもったパネルディスカッションなどを行いました。

10 月 28, 29 日には、森林再生事業化委員会の 24

名が参加して『九州視察会』を行いました。民国連携による林道建設現場視察や、高性能林業機械の稼働状況等の視察を行いました（写真③）。

視察会の 1 日目午後からは、林野庁九州森林管理局の方をはじめとした、熊本県五木地域森林整備推進協定のメンバーの方々と JAPIC が提言している「次世代林業システム」（図①）の「地域モデル」について意見交換を行いました（写真④）。その結果、JAPIC が同協定に基づく民国連携の取組のさらなる具体化に向けてお手伝いをする事とし、これをもって地域モデルとすることとなりました。

そして、12 月 5 日に開催された第 25 回森林再生事業化委員会で、九州視察会での「地域モデル」についての打合せ結果を報告し、森林再生事業化委員会として「次世代林業システム」を進めていくうえで、熊本県五木地域をモデル地域として、五木地域森林整備推進協定の運営及び取組に JAPIC も参画し、進めていくことを協議しました。

2015 年の活動予定

2015 年 2 月 17 日には、『次世代林業シンポジウム～九州地域モデルへの挑戦～』と題したシンポジウムを茅場町の鉄鋼会館で開催する予定です。多くの方々に JAPIC の森林再生事業化委員会の活動を知っていただき、活動を広げていくとともに次世代林業システムの実現を目指していく考えです。

また、6 月には平成 27 年度重点政策提言を委員会でもまとめ、関係省庁へ引き続き提言を行う予定です。

そして、8 月 8 日には国産材マーク 2 周年記念を迎えるため、関係各団体様と一緒に 2020 年までに木材自給率 50% を目標として更なるアピールを行っていく予定です。引き続きご理解とご支援を宜しくお願い致します。

* 事務局：〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館6階 Tel 03-3668-2885 Fax 03-3668-8718



▲写真① 沼田林野庁長官(当時)へ重点政策提言を手交



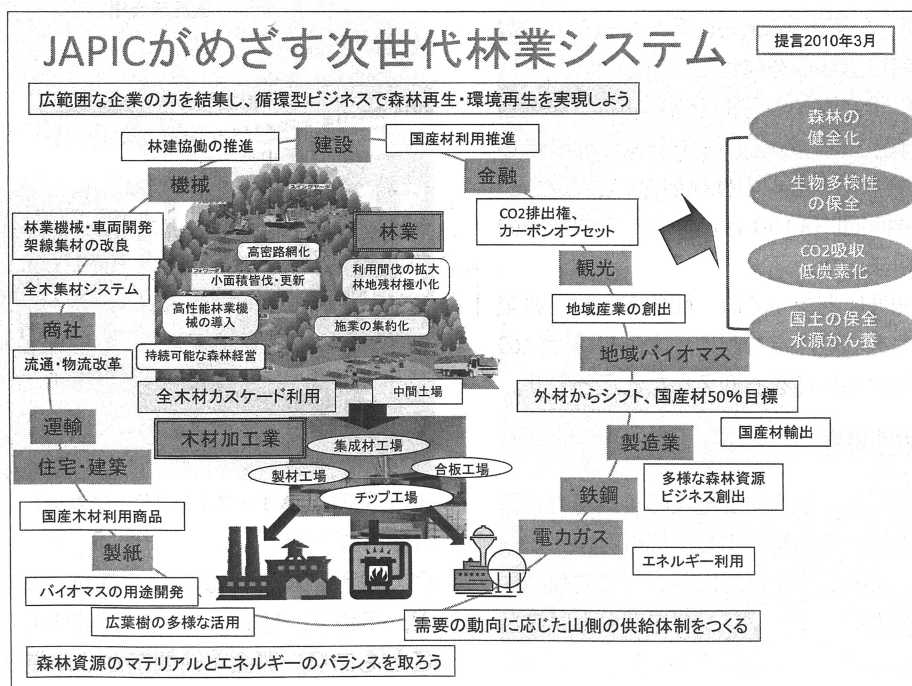
▲写真② 国産材マーク1周年記念シンポジウム



▲写真③ 林業機械現場 (泉林業(株)様の現場にて)



▲写真④ 地域モデルの打合せ



▲図① 次世代林業システムの概要